

（様式②-1） 令和3年度事業計画書（局・統括本部）

〔環境創造局 管路保全課〕

事業名		
1 款	1 項	2 目
管きよ改良事業		

特記事項	
中期計画-3 8の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
新規・拡充	

中期計画-3 8の政策	
政策番号	主な施策番号

令和2年度 事業評価書 番号	1-1-2 20
令和2年度 事業評価書 番号	

（単位：千円）

区分	金額	財源内訳					
		国	県			企業債	建設改良積立金等
令和3年度	151,548	0					151,548
補助事業 単独事業		補助率	%				
令和2年度	209,179						209,179
増△減	△ 57,631	0	0	0	0	0	△ 57,631

予算	支出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
		事業費	633,565	675,538
	企業債+建設改良積立金等	633,565	675,538	729,593
決算	事業費	411,422	302,054	176,656
		企業債+建設改良積立金等	411,422	302,054

予算	支出	令和4年度	令和5年度
		事業費	-
	企業債+建設改良積立金等	-	-

方針の確認/決裁
有 () ・無 ()

【事業の目的・必要性】

本事業は、下水道管布設後30年から50年経過した区域を対象に、既設管の状況を調査し、対策が必要な管きよについて、流下能力の向上や耐衝撃性、耐腐食性が期待できる材質を用いるなどの改良を図っている。

【令和3年度実施内容と期待される効果】

【実施内容】

改良工事 L=1500m

【期待される効果】

対策を実施した管きよについて、流下能力の向上や耐衝撃性、耐腐食性などが期待される。

【実績及び今後見込み】

	28年度決算	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度見込	4年度見込
改良延長 (m)	3,335	3,070	3,340	1,859	2,100	1,500	-

【事業費の内訳】

	3年度	2年度	差引	説明
改良工事業務	151,485	209,049	△ 57,564	当該事業の縮小のため。
事務費	63	130	△ 67	
合計	151,548	209,179	△ 57,631	

【事業スケジュール】

通年

【事業開始年度】

昭和55年

【根拠法令】

下水道法及び下水道施行令

【根拠とするデータ等】

過年度実績

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	下水道維持担当
	小塚 亮一	木村 英一	村上 拓

(様式②-1) 令和3年度事業計画書 (局・統括本部)

[環境創造局 下水道施設管理課]

事業名	
1 款 1 項 2 目	水再生センター・ポンプ場改良事業

特記事項	
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
新規・拡充	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号

令和2年度事業評価書番号	1-1-221
令和2年度事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				
		国	県		企業債	建設改良積立金等
令和3年度	1,180,099	0				1,180,099
補助事業 単独事業		補助率 %				
令和2年度	1,020,099					1,020,099
増△減	160,000	0	0	0	0	160,000

支出		平成29年度	平成30年度	令和元年度
予算	事業費	1,042,099	1,021,099	1,030,099
	企業債+建設改良積立金等	1,042,099	1,021,099	1,030,099
決算	事業費	950,562	890,260	1,025,670
	企業債+建設改良積立金等	950,562	890,260	1,025,670

支出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	1,040,008	1,040,008
	企業債+建設改良積立金等	1,040,008	1,040,008

方針の確認/決裁

有 () ・無 ()

【事業の目的・必要性】

・改良工事は、耐用年数が到達する以前に、①機能的・物理的な原因により機能低下した設備 ②老朽化等により使用限界に達した設備等を対象に、機器や装置の交換や機能追加等を主体に改良し、機能や信頼性の向上、設備の長寿命化を図ります。

【令和3年度実施内容と期待される効果】

・水再生センター11か所、汚泥資源化センター2か所、ポンプ場26か所等の施設を対象に改良工事を施行します。
 ・省エネ機器、高効率機器を導入することにより、環境対策、動力経費節減等に寄与します。
 ・設備の信頼性の向上により、下水道施設での事故、機能停止を予防します。

【実績及び今後見込み】

過年度推移と今後の見込み

単位：千円

下水道改良費	H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R元年度決算	R2年度見込	R3年度見込
工事請負費	938,542	1,008,291	950,562	890,260	1,025,670	1,020,000	1,180,000
その他	12	0	0	0	0	99	99
計	938,554	1,008,291	950,562	890,260	1,025,670	1,020,099	1,180,099

【事業費の内訳】

下水道改良費	R3年度		R2年度		差引		説明
	金額	数	金額	数	金額	数	
工事請負費 (ポンプ場)	264,000	9	228,000	10	36,000	△1	ポンプ場電気、機械改良工事等
工事請負費 (水再生センター)	916,000	22	792,000	24	124,000	△2	水再生センター等電気、機械改良工事等
その他	99	—	99	—	0	—	旅費、賃借料
計	1,180,099	31	1,020,099	34	160,000	△3	

【事業スケジュール】

中期経営計画に基づき水再生センター、汚泥資源化センター、ポンプ場の施設を対象に、機能低下や使用限界に達した水処理、汚泥処理設備を改良します。

【事業開始年度】

昭和52年度

【根拠法令】

地方自治法、地方公営企業法、下水道法、横浜市下水道条例、水質汚濁防止法、公害対策基本法、神奈川県生活環境に関する条例、大気汚染防止法、ダイオキシン類対策特別措置法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、公害健康被害保障法。

【根拠とするデータ等】

水再生センター等運転管理年報 (令和元年度版)

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	調査担当
	平野 哲雄	秋元 武	坂本 和彦